

世界保健機関（WHO）は毎年5月31日を「世界禁煙デー」と定め、喫煙しないことが一般的な社会習慣となることを目指しています。また、厚生労働省は5月31日～6月6日を「禁煙週間」と定めています。この機会に喫煙と健康について学びましょう。

5月31日は「世界禁煙デー」



5月31日～6月6日は「禁煙週間」



厚生労働省テーマ

「受動喫煙のない社会を目指して

～私たちができることをみんなで考えよう～」

「受動喫煙」とは非喫煙者が他人のたばこの煙（呼出煙・副流煙）にさらされてしまうことを言います。たばこの煙には、喫煙者が吸う「主流煙」、喫煙者が吐き出した「呼出煙」、たばこから立ち上る「副流煙」があります。「副流煙」は「主流煙」より有害物質の含有量が多いとされています。

副流煙に含まれる有害物質の濃度 (主流煙に含まれる濃度を「1」とした場合)	
一酸化炭素	3.4～21.4倍
ニコチン	2.8～19.6倍
タール	1.2～10.1倍

※他にもたくさんの有害物質が含まれています。

受動喫煙による年間死亡数推計値

日本では、受動喫煙が原因で年間1万5千人が死亡していると推計されています。



厚生労働省：健康日本21アクション支援システム
～健康づくりサポートネット～ 喫煙について調べよう！



2025禁煙支援・受動喫煙防止キャンペーンを両キャンパスで実施します！



5月31日は世界禁煙デー
WORLD NO-TOBACCO DAY



受動喫煙のない社会を目指して
～私たちができることをみんなで考えよう～

Smoke-free Campus, TEZUKAYAMA

帝塚山大学は
禁煙支援・受動喫煙防止を推進します

学園前キャンパス
5月26日(月)～5月30日(金)
16号館5階 保健室前

東生駒キャンパス
6月2日(月)～6月6日(金)
3号館1階 保健室前